



世界文化遺産
長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産

ガイドマップ

7

くろ しま しゅう らく
黒島の集落

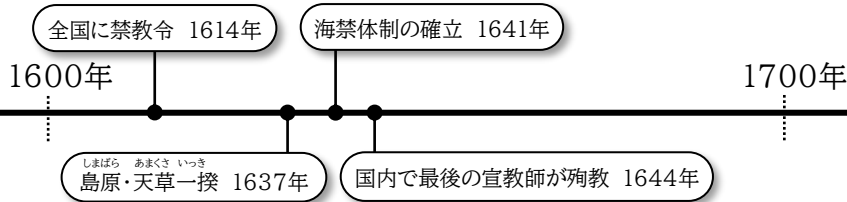
Villages on Kuroshima Island



黒島の集落 | の価値

I 宣教師不在と キリシタン「潜伏」のきっかけ

II 潜伏キリシタンが信仰を 実践するための試み



「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」全体の価値における位置づけ

- ◎「くろしま しゅうらく黒島の集落」は、潜伏キリシタンが信仰の共同体を維持するに当たり、どのような場所を移住先として選んだのかを示す5つの集落のうちの一つです。
- ◎ひらどはん まきばあと平戸藩の牧場跡の再開発地に開拓移住することによって共同体を維持した集落です。

《基本情報》

文化財の名称	佐世保市黒島の文化的景観
種別	重要文化的景観
指定年	2011年
所在地	佐世保市

資産内の 見学マナー

- 資産内では生活が営まれています。住民のプライバシーを考え、マナーを守って散策してください。
- ゴミ箱を設置しておりませんので、ゴミはお持ち帰りください。
 - 道路を歩く場合は、広がらず、必ず路側帯を歩いてください。
 - 喫煙は所定の場所をお願いします。歩きながらの喫煙やたばこのポイ捨てなどはお止めください。
 - 個人の敷地や田畑に入ったり、家の中を覗いたり、無断で戸を開けたりするのは絶対にお止めください。
 - トイレは所定の場所をお願いします。

教会堂 見学の 事前連絡

教会行事により見学できない場合や、一度に多くの見学者を受け入れられない場合もありますので、見学を希望される際は、事前に各受付窓口のホームページからご連絡をお願いします。

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター
(長崎の教会群インフォメーションセンター)

<http://kyoukaigun.jp>
〒850-0862 長崎市出島町1-1-205(出島ワーフ2階)
TEL.095-823-7650 ©受付時間 | 9:30~17:30

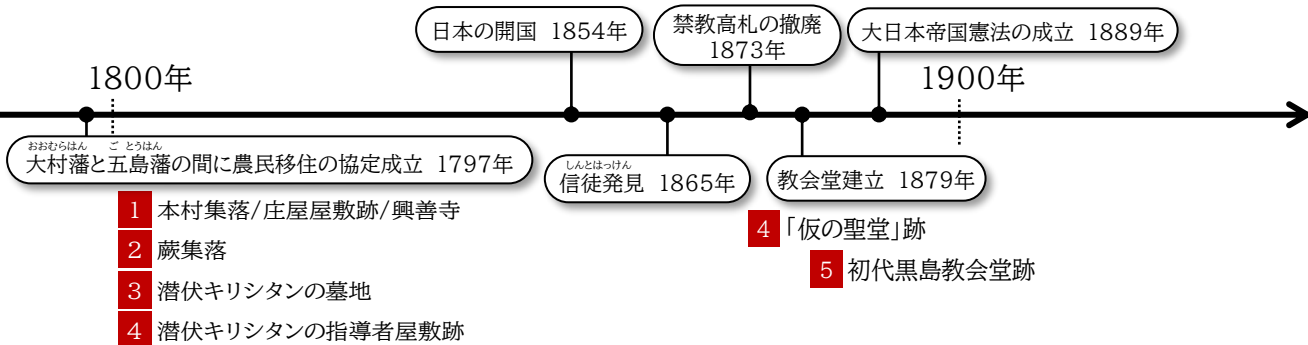
キリシタン遺産 インフォメーション

検索



Ⅲ 潜伏キリシタンが共同体を維持するための試み

Ⅳ 宣教師との接触による転機と「潜伏」の終わり



歴史

- ◎ 黒島は、13世紀頃から文献に登場します。15世紀には平戸島の勢力下に入り、島の北部に最初の集落である本村集落 **1** が形成されました。
- ◎ 黒島では16世紀から17世紀にかけて宣教師の活動の記録はないことから、この時期にキリスト教が伝わることはなかったと考えられます。
- ◎ 17世紀に平戸藩の牧場が設置されましたが、馬よりも田畑の必要性が増したことにより、19世紀初頭に廃止されました。
- ◎ 平戸藩が牧場跡地の再開発のために開拓民を誘致した結果、移住者が新たに7つ（古里、東堂平、日数、名切、根谷、田代、蕨）の集落を形成しました。移住者の中には、外海地域などを出身地とする多くの潜伏キリシタンが含まれており、7つの集落のうち古里集落を除く6つの集落が潜伏キリシタン集落でした。
- ◎ 潜伏キリシタンは、牧場跡の再開発のため、開拓民の誘致がなされていたことで先住民と共存できる可能性が高いと思われた黒島を移住先として選ぶことにより、共同体を維持しようとしました。
2 3
- ◎ 黒島に移住した潜伏キリシタンは、仏教寺院に所属して表向きは仏教徒を装いつつ、ひそかにマリア観音を拝んで自分たちの信仰を続けました **1**。
- ◎ 「信徒発見」後、カトリックへ復帰した黒島の潜伏キリシタンは、禁教期の指導者の家を「仮の聖堂」としました **4**。
- ◎ 1879年には、各集落から利便の良い島の中央に、木造の初代黒島教会堂 **5** が建てられました。1902年には煉瓦造の現在の教会堂に建て替えられました。

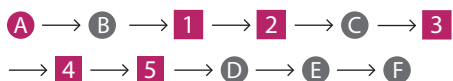
| 黒島の集落 | の広域・拡大マップ

アクセス上の注意事項

- 黒島港とを結ぶ相浦港あいのうらこうには駐車場が少ないため、できる限り、公共交通機関をご利用のうえお越しください。
- 黒島にはタクシー、バスなどの公共交通機関はありません。移動手段は、自家用車が徒歩またはレンタサイクルになります。
- 島内の民宿や食事処で食事される場合は、事前に予約が必要です。



《推奨ルート》



集落 仏教集落 集落 潜伏キリシタン集落

- 構成資産範囲
- 徒歩で移動
- 徒歩または自動車等で移動
- 0 重要ポイント
- A 情報発信拠点施設
- A その他のポイント



- | | | | | |
|---------|------|----|---------|------|
| 駐車場 | 休憩所 | 集落 | 関連の建物跡 | 教会堂 |
| トイレ | 展示 | 神社 | ビューポイント | 教会堂跡 |
| ガイド・案内所 | ショップ | 寺 | 墓地、墓碑 | |

黒島の集落 | の重要ポイント案内

1

ほんむらしゅうらく しょうややしきあと こうぜんじ
本村集落 / 庄屋敷跡 / 興禅寺



※興禅寺の敷地内は原則立入禁止です。見学を希望する場合はガイドツアーをご利用ください。

本村集落は、14世紀頃から続く黒島で最も古い仏教集落です。島の仏教徒は、後から来た潜伏キリシタンと共存しつつ過度に干渉しないようにしていました。この公園は「絵踏」が行われていた「庄屋敷跡」跡です。この先の「興禅寺」にはマリア像に見立てた子抱観音があったといわれ、潜伏キリシタンも仏教徒を装っていました。



本村集落



庄屋敷跡



興禅寺の梵鐘 寄進者として潜伏キリシタンの名が見える



① 興禅寺



興禅寺のマリア観音(現存しない)

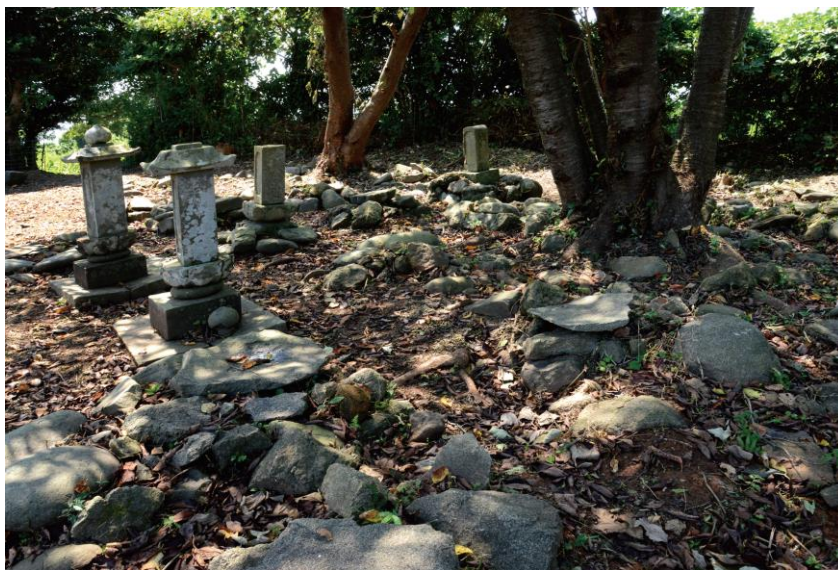
2

わらべしゅうらく
蕨集落

牧場跡の蕨集落

黒島南部の蕨・田代一带には平戸藩の牧場があったといわれますが、1802年に廃止され、跡地への開拓移住が奨励されました。そこに海外地域などの潜伏キリシタンが移住し、海岸近くの斜面地に家を建てひそかに信仰を続けました。蕨集落では、海岸から防風林、住居、畑と一列に並ぶ当時の土地利用が残されています。

3

せんぶく ぼち しきりまき ぼち
潜伏キリシタンの墓地(仕切牧墓地)

※敷地内は立入禁止です。

①

仕切牧墓地は、蕨集落の潜伏キリシタンの墓地で、1880年代にカトリック共同墓地ができるまで使われていました。黒島の仏教墓は墓石の正面を西に向けて建ててありますが、この墓地には東に向けて建てられた墓もあります。東向き墓の中には、近代に建てられた墓がないことから、潜伏キリシタンの墓と考えられています。

4

せんぶく しどうしゃ やしきあと かり せいどう あと
 潜伏キリシタンの指導者屋敷跡(「仮の聖堂」跡)



①

この場所は、黒島の潜伏キリシタンで指導者を務めた出口家の屋敷跡です。解禁前年の1872年にひそかに神父を招き、ここで初のミサが行われました。解禁後は「仮の聖堂」となり、1879年に島の中心に最初の教会堂が建てられるまで使われていました。黒島の聖地の一つとして石碑(信仰復活の地)が建てられ、顕彰されています。

5

しょ だいくろしまきょう かいどうあと
 初代黒島教会堂跡



①

1879年、黒島で最初の教会堂がペルー神父の設計でこの場所に建てられました。信徒の集まりやすさを考慮し、島の中心が選ばれました。現在の教会堂(黒島天主堂)は、二代目になります。初代教会堂の名残りがいくつか残されており、脇祭壇には初代の主祭壇が、楽廊の手すりには初代の聖体拝領台がそれぞれ転用されています。



①

黒島の集落 | その他のポイント案内

A 黒島ウェルカムハウス



①



黒島の歴史に関する展示やガイドの受付、電動自転車の貸出、地元で採れた農水産物などのお土産の販売を行っています。

- 所在地/佐世保市黒島町8-4 Tel:0956-56-2311
- 定休日/不定休
- URL/<http://kuroshimakanko.com/>

B 黒島神社



①

禁教期には、黒島の全島民が黒島神社の氏子でした。この神社では毎年例祭という全島民が参加する行事がありますが、解禁前年の1872年にこの例祭を行った際、仏教徒の集落（本村、古里）以外の集落のほとんどの人が参加しなかったため、黒島の潜伏キリシタンがカトリックに復帰したことが発覚しました。

C 蕨展望所



①



海に向かって左側に外海地域があり、右側に五島列島があります。沖合にはおおたてしま大立島(左)とえのしま江ノ島(右)が見え、天候が良ければ、五島列島も見ることができます。禁教期には、外海地域などの潜伏キリシタンがこの沖合を通過して、五島列島に移住しました。黒島に移住した人たちもこの海から上陸したと考えられています。

くろしまてんしゅどう
D 黒島天主堂



①



②

1902年にマルマン神父の設計により建てられた二代目の教会堂です。煉瓦造で、鐘塔が屋根の上にあります。内部は三廊式で、アーケード・トリフォーラム・クリアストリーの3層構造からなり、リブ・ヴォールト天井です。天井板の表面は高級感を出すために手描きで木目が描かれています。列柱の礎石には黒島産の御影石、内陣には有田焼のタイルが使用され、マルマン神父が作った木製の説教壇とシャンデリアもあります。

教会堂の拝観マナー

教会堂は大切な祈りの場ですので、見学マナーを守り、厳粛な雰囲気の中で心静かに過ごしてください。



- 堂内では帽子を脱ぎ、静かに拝観してください。
- 堂内にある物にはふれないでください。
- 柵内、内陣(祭壇域)には入らないでください。
- 堂内での飲食、飲酒、喫煙は厳禁です。
- 堂内の写真撮影は禁止です。
- 教会行事(ミサや冠婚葬祭など)が行われているときは入堂をご遠慮ください。

くろしまてんしゅどう しりょうしつ
E 黒島天主堂資料室



①

歴代の主任司祭が使っていた道具類やミサ典礼など教会堂に残されていた各種資料が展示されています。建物は「もん部屋」といい、かつて子供たちの教理の勉強会やシスターの宿泊場所として使われていたものです。

① **カトリック共同墓地** きょうとうぼち

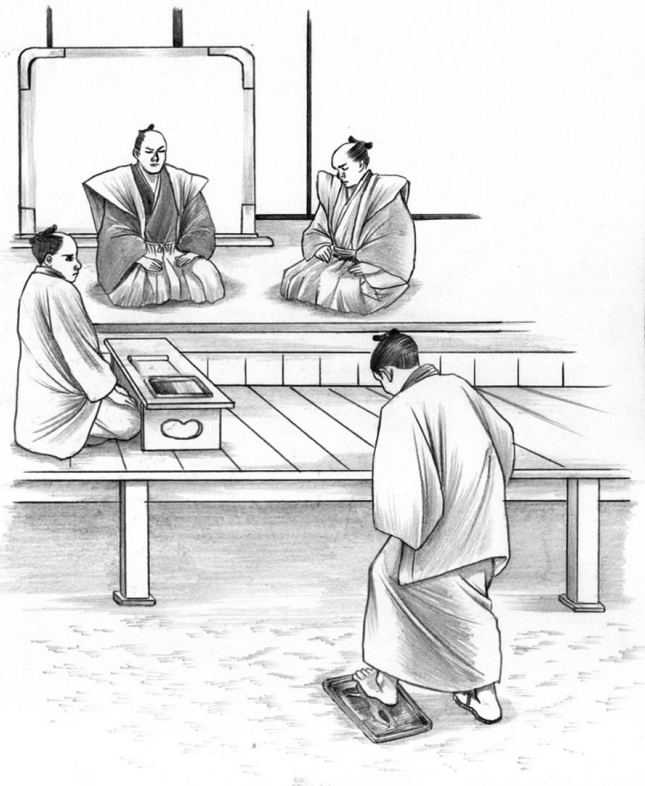


①



①

禁教期には、黒島の潜伏キリシタンは集落ごとに墓地を設け、埋葬していました。1879年、黒島で最初の教会堂が島の中心に建てられると、教会堂に近いこの地にカトリック信者のための共同墓地が作られました。この墓地には、二代目教会堂(現在の黒島天主堂)を建設したマルマン神父のお墓もあります。



※イラストはイメージです。

12の構成資産

1600

- 日本にキリスト教が伝来 1549年
- 1614年 全国に禁教令
- 1637年 島原・天草一揆
- 1641年 海禁体制
- 1644年 国内で最後の宣教師が殉教

1700

- 1797年 大村藩と五島藩の間に農民移住の協定成立

1800

- 1854年 日本の開国
- 1865年 信徒発見
- 1873年 禁教高札撤廃
- 1889年 大日本帝国憲法成立

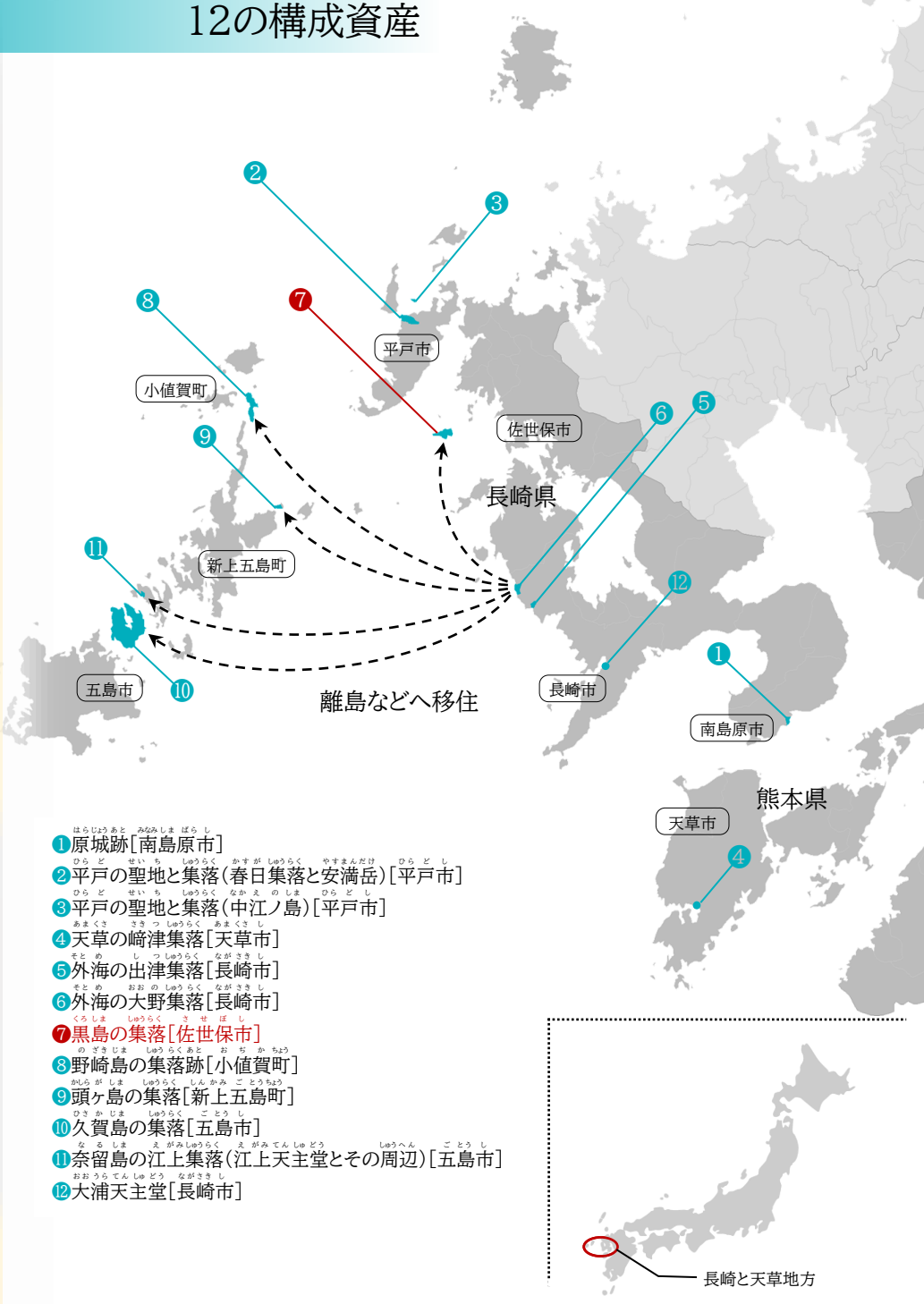
1900

I 宣教師不在とキリシタン「潜伏」のきっかけ

II 潜伏キリシタンが信仰を實踐するための試み

III 潜伏キリシタンが共同体を維持するための試み

IV 宣教師との接触による転機と「潜伏」の終わり



- 1 原城跡[南島原市]
- 2 平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳)[平戸市]
- 3 平戸の聖地と集落(中江ノ島)[平戸市]
- 4 天草の崎津集落[天草市]
- 5 外海の出津集落[長崎市]
- 6 外海の大野集落[長崎市]
- 7 黒島の集落[佐世保市]
- 8 野崎島の集落跡[小値賀町]
- 9 頭ヶ島の集落[新上五島町]
- 10 久賀島の集落[五島市]
- 11 奈留島の江上集落(江上天主堂とその周辺)[五島市]
- 12 大浦天主堂[長崎市]

「黒島の集落」に関するお問い合わせ
 佐世保市 教育委員会 文化財課
 〒857-8585 長崎県佐世保市八幡町1-10 TEL:0956-24-1111
 【HP】<http://www.city.sasebo.lg.jp/kankou/kankou/20170516kurosima.html>
 【MAIL】bunzai@city.sasebo.lg.jp